受 理 番 号	陳情第10号	受 理 年 月 日	平成26年10月2日
件 名	川内原発再稼働に反対する意見書提出に関する陳情書		
陳 情 者	川内原発再稼働に反対する全国自治体議員の会 共同代表 松田 勝美		
要 旨			
<p>2011年3月の東京電力福島第一原発事故により、「原発安全神話」が崩れた。その後、全ての原発が停止となり、原発がなくとも電気が足りることも分かった。そして、この過酷な事故に際して、住民の命と暮らしを守る自治体の役割が重大なことが明らかになった。</p> <p>今、全国の全ての原発が止まっている中で、再稼働の一番手として、九州電力川内原発の再稼働が急がれている。しかし、未だ原発事故の原因究明も終わらず、約13万人もの住民が避難したままの福島第一原発事故の教訓は何ら生かされていない。大地震・大津波、そして川内原発に特有な火山の噴火や火砕流という想定できる大災害に、何一つ対応策がないままである。しかも、大災害とそれに伴う原発事故における住民の避難計画は、30キロ圏内自治体を含め安全な場所に避難できず、全く現実性のないものとなっている。</p> <p>近年、日本では全国各地で想定外の大災害に見舞われている。その上、全国には、くまなく原発がある。最も危険な立地にある川内原発の再稼働を許せば、全国各地の原発が次々と再稼働に向かう。それは、私たち自治体議員・市民にとって人ごとではない。住民の命と安全を守る責任から、何としても川内原発の再稼働を止めなければならない。</p> <p>ついては、以上の趣旨に基づき、下記事項を陳情する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>住民の命と暮らしの安全を守るべき自治体議会の責任として、薩摩川内市議会から政府及び関係機関に対し、川内原発再稼働に反対する意見書の提出を求める。</p>			